

特集「スタート」

START!

人々の暮らしや新しいものごとが動き出す新年度。

この春、教育環境・情報発信・人財育成の分野で

「スタート」した3つのことをご紹介します。

START!

1

小川北 義務教育学校 開校

新校舎

1年生～6年生の教室があります

校舎間をつなぐ渡り廊下

既存校舎（旧小川北中学校）

7年生～9年生の教室があります

みんなで使う昇降口

美野里中学校



校舎内のすべてのトイレを洋式化。清潔で使いやすくなりました。

竹原小学校



体育館の全面改修が終了。伸び伸びと学べる環境に生まれ変わりました。

美野里地区の小中学校でも、学習環境の改善を進めています。

教育環境の改善

市立学校は9校に

小学校／
竹原小学校、羽鳥小学校、
堅倉小学校、納場小学校、
小川南小学校

中学校／
小川南中学校、
美野里中学校

義務教育学校(9年制)／
玉里学園義務教育学校、
小川北義務教育学校

学校規模配置適正化が完了
平成22～27年に保護者、地域、教職員が検討・策定した「学校規模配置適正化実施計画」は、児童生徒の減少による学校の小規模化、施設の老朽化・耐震化などの課題に対応するとともに、小中一貫教育など新しい学校づくりへの取り組みを進める計画です。計画に基づき、平成31年に「小川南小学校」、令和3年に「玉里学園義務教育学校」が開校。そして今春、小川北中学校区の小中学校を統合した「小川北義務教育学校」がスタートしました。



校章

原案：山本洋平さん(小川北学区在住)

野田・上吉影・下吉影の3地区の輪を、3枚の花弁を持つ花で表現。それぞれの輪の中には「小川北」の文字があらわれています。

統合で地域の輪が1つとなり児童生徒が切磋琢磨することで、地域に新たな花を咲かせ、新しい歴史を創り上げてほしいという想いが込められています。

多様な学年の子どもたちが活発に交流できる環境

- ◆ 広いスペース・吹抜けで開放的な図書館
- ◆ 児童・生徒の学習・発表の場 多目的ホール
- ◆ さまざまな遊具があるサブグラウンドを校舎に併設

多様な教育に対応できる充実した学習環境を整備した新校舎。非常用自家発電機などの防災機能を兼ね備え、災害時には地域の避難所としての役割も担います。



図書館



多目的ホール



校舎の概要

校舎	鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積	4,396.18㎡(新校舎) 4,134.38㎡(既存校舎)
教室数	学年教室 18 特別支援教室 6 特別教室 8
児童生徒数	466人(R4.3.31現在)
その他	太陽光発電施設、非常用発電機能(災害時、体育館への電力供給可能)、多目的トイレ(オストメイト対応、おむつ替えシートあり)



羽ばたこう 明るい未来へ

小川北義務教育学校がスタートしました。明るくきれいな教室、1年生から9年生までの交流活動、教科担任制など、この学校には学ぶ楽しさが数多くあります。

子どもたちには、「真剣な眼差しと輝く笑顔」を絶やすことなく、夢や目標に向かって前向きに取り組み、自分の良さや可能性をぐんぐん伸ばしてほしいと願っています。

今後も、未来の宝であり、地域の宝でもある子どもたちが、義務教育学校での9年間の学びを通して成長できるよう、市民の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

小美玉市教育委員会 羽鳥文雄 教育長



普段使いできる
便利なサイトに
生まれ変わ
りました！



スマホでコードを
読み取ると
市ホームページを
ご覧いただけます。

START! 2

小美玉市ホームページ リニューアル

1日に約1万件のアクセスがある小美玉市ホームページ。スマホの普及やコロナ禍により、ネット上での情報提供の重要性が高まるなか、2022年4月に小美玉市ホームページ(市政ページ)が新しくなりました。暮らしに関することや手続きの情報など、幅広い分野の豊富な情報量はそのままに、見やすく便利になったポイントをご紹介します。

ココが進化！3つのポイント

ポイント
1

7割超がスマホで閲覧！
スマホで見やすく



利用者アンケートで7割以上の方が「スマホ利用」と回答したことから、スマホで見やすいサイトに。パソコンやタブレット端末でも、最適な表示で見ることができます。

ポイント
2

知りたいことを目的別で
見つけやすく



メインメニューのほかに、知りたいことを目的別に探せるメニューをご用意。検索機能も強化しました。

▶ライフメニュー

「引越し」や「入学」など、ライフシーンに合った情報を見つかります。

▶よく利用されるメニュー

「電子申請サービス」や「施設マップ」など利用頻度の高いメニューにすぐにアクセスできます。

ポイント
3

多言語&やさしい日本語
みんなにやさしく



▶多言語に対応

グーグル翻訳による108か国語の翻訳に対応。スマホの場合は下部メニューボタンから言語選択ができます。

▶「やさしい日本語」に対応

難しい言葉を言い換えたり、漢字にひらがなをつける機能があります。外国人市民や子どもたちなど、みんなにやさしいサイトに。画面上部のやさしい日本語ボタンをぜひお試しください。

10:30 子どもと散歩へ

8:00 ごみ出し

今日はどこに行こう？
公共施設マップ



「いつもの散歩コース、ちょっとあきてきたな」そんなときは、施設マップで近くの公園を検索。図書館、公民館、運動施設を探するときも便利！

家がすっきり！



「わからない」を解決！
ごみ分別辞典



「これって何ごみ？」ごみ出しの度に迷っていることを解決してくれる分別辞典があるんだって。五十音順で調べやすいね！

ホームページ
使ってみた！



前川 芽依さん
季帆ちゃん

7つの機能でもっと便利に！使いやすく！

機能1 申請手続きをネットで電子申請サービス

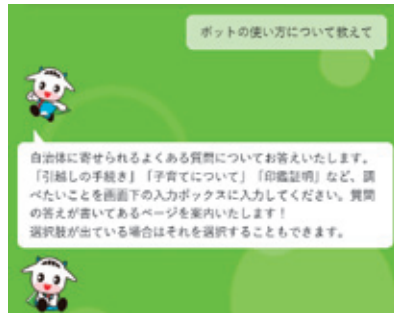


トップページ内に「電子申請サービス」ボタンを追加し、アクセスしやすくなりました。セミナーへの申し込みや不法投棄の通報などがオンラインでできます。電子申請できる手続きは順次追加される予定です。

電子申請サービスはこちら▶



機能2 おみたんが親切回答！AIナビゲーション

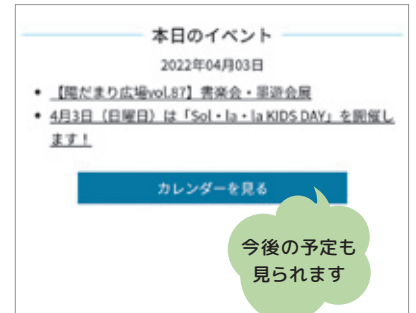


手続きや制度などに関する疑問を、AIおみたんに聞くことができる総合案内サービス。トップページ右下のおみたんをタップすると質問画面が表示されます。質問されることでAIおみたんが賢くなっていきます。

AIナビゲーションはこちら▶



機能3 今日は何やってる？本日のイベント



今後の予定も見られます

「今日は何のイベントがあるかな？」と思ったら、トップページの「本日のイベント」欄をチェック。当日に開催される行事の情報が表示されます。予約が必要な場合もあるので、参加方法など詳細の確認もお忘れなく。

本日のイベントはこちら▶
(トップページの中段)



機能4 聞き逃しても大丈夫！放送内容がわかる



「さっきの放送、何て言ったのかな？」聞き逃してしまった防災行政無線の放送内容をホームページでチェックできます。新型コロナのワクチン情報など、メール配信サービスの内容も見られます。

機能5 「もしも」に備える！防災サイト



災害発生時に必要な情報を入手できる防災サイトが見やすく。いざというときに慌てないよう、日頃から避難場所やハザードマップを確認しておきましょう。閲覧はトップページ内の「防災サイト」から。

機能6 アクセスしやすくなった！魅力発信動画



全国広報コンクールで日本一に輝いた動画「小美玉ヨグルトストーリー」をはじめ、市内で暮らす人々の姿や地域の魅力を紹介する動画の数々が、トップページからアクセスしやすくなりました。

機能7 広報紙がネットでも！最新の広報おみたま



市内の魅力や出来事を伝える「広報おみたま」と、市からのお知らせ情報が満載の「お知らせ版」。冊子でもネットでもご覧いただけます。ネットの場合は、トップページの最新号コーナーから。

市のホームページ
見やすくなりましたね！
これから使う機会が増えそうです！



16:00 帰宅

さっきの放送内容は？
放送内容をすぐ確認



「帰宅途中に流れてた無線放送、聞き逃した！」そんなときも、ホームページで放送内容を見られるから安心だね。

これ便利！

13:30 サークル活動

空き状況確認・予約も！
まちかぎリモート



学校の体育館や会議室など一部施設では、スマホで空き状況確認や予約、鍵の開閉ができるんだって。窓口に行く手間が省けて、助かる～！





START! 3

若手職員による地域魅力発信紙 「地域へDive」〈上吉影編〉発行



詳しくはこちら

「地域へDive」とは

市役所の若手職員が「地域に飛び込む」ことを通して掘り起こした地域の魅力を、広報紙にまとめました。

小美玉市役所の若手職員6名が取り組んだ「地域へ飛び込む職員プロジェクト」。職員自らが考える力を養うとともに、積極的に地域に関わり、市民と連携して行動する職員の育成を目的としたプロジェクトです。今回は上吉影小学校区コミュニティ内の地域を題材に、地域魅力発信紙「地域へDive」を発行。広報紙の企画・取材・編集を通して、地域の魅力や未来についてそれぞれが深く考えるきっかけとなりました。

「地域へDive」ができるまで

1 企画



記事の内容を検討するため、それぞれが書き出した上吉影小学校区コミュニティ内の「ヒト・モノ・コト」を見ながら、メンバー同士で意見交換。魅力を伝えるための企画を考案しました。

2 取材



「取材に来ました！」と訪ねると、皆さんが次々と地元への想いを語ってくれました。取材を通じた交流で、よりよい地域のため率先して動く方々と出会い、地域への関心が増しました。

3 制作



伝えたいことを伝えるためにはデザインも大事。何度も素案を作り、見やすい紙面を試行錯誤しました。デザイナーからレイアウトや色使いなどの助言を受け、プロの考え方も学びました。

4 発表



上吉影小学校区コミュニティをはじめ、地域活動に関わる皆さんの前で成果発表。職員たちは「積極的に関わることで、地域のことが身近になった」と活動を振り返りました。

参加メンバーの声



行政経営課
大場 瞬 さん

地域の方に話を伺ったり、実際に地域を歩いたことで、魅力が山ほど発見できて予定よりもページが増えました。机の上で考えているだけでなく、地域に飛び出していろんな方々と触れ合うことが大事だと実感しました。

地域の声



上吉影小学校区コミュニティ
会長 久保庭 裕一 さん

初めに「上吉影の魅力発信紙を作りたい」と聞き、上吉影の魅力って何だろうと思いました。住んでいると気がつかない、上吉影の魅力を若手職員の皆さんにたくさん発見していただいたことを嬉しく思います。地域に戻ってこの冊子を手に地域の魅力を話題にしていきたいと思います。